

1 国語に関する調査

【特長】

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く問題の正答率が高い。単元の振り返りとして考えをまとめる指導を計画的に繰り返し行った成果だと考えられる。
- 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する問題の正答率が高い。調べたことを発表する機会を通じて、効果的に表現する指導を取り入れてきた成果だと考えられる。

【課題】

- 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がみられる。内容を正確に読み取る学習を通して、自分の考えや理由が丁寧に表現できるように取り組む必要がある。
- 読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がみられる。発表する際の手稿は、事前にペアで語句の用法を確認するなど、話し合い活動を工夫する。

2 数学に関する調査

【特長】

- 必ず起こる事柄の確率について理解できているかどうかをみる問題の正答率が高い。昨年度から継続して確率を求める問題の演習に取り組む時間を設定したことによる成果だと考えられる。
- 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取る問題の正答率が高い。授業の際、表やグラフと具体的な事象を対応させ、表やグラフから読み取ったことが具体的な事象では何を表しているかを捉える活動を充実させたためだと考えられる。

【課題】

- 素数の意味を理解しているかどうかをみる問題の正答率が低い。整数の性質について考察する場面において、整数を様々な視点で分類し、基礎基本の内容を理解できるよう様々な場面で丁寧に説明する必要がある。
- 数式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見出して、数学的な表現を用いて説明する問題の正答率が低い。数式から得られた情報を読み取り、数学的な用語を用いて数式が示す内容を発表する学習活動を取り入れていく必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- 身の回りの事象から生じた疑問や見出した問題を解決するための課題を設定する問題の正答率が高い。

【課題】

- 元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身につけているかを問う問題の正答率が低い。実験結果をまとめたり発表したりする際には、用語や記号などの学んだ知識を、丁寧に活用して考察するよう授業づくりを工夫する必要がある。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ・発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表したと回答した生徒の割合が高い。これは様々な授業を通して発表の機会を多く設定し、学習の目的をもって取り組んできた成果であると考えられる。特に総合的な学習の時間において、3年間一貫したテーマについて学習を進めてきたことにより、生徒の達成感や充実感につながっていると考えられる。
- ・自分にはよいところがあると答えた生徒の割合が高い。これは生徒の自己肯定感が高いと捉えることができる。

【課題】

- ・友達関係に十分には満足できていないと回答している生徒がいる。道徳や日々の学校生活全般を通じて、友達との関わりについての学びをさらに深めていくとともに、教師が生徒に寄り添えるような温かい関係づくりを継続していきたい。
- ・地域の大人に勉強やスポーツなどで関わってもらったことがあると回答した生徒の割合が低い。授業や放課後の活動における地域とのよりよい関わりを、模索していきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・すべての生徒がわかる喜びを実感でき、学校教育目標にある「自ら学ぶ意欲」をより一層高められるよう、よりよい学習習慣・学習方法の確立を目指す。
- ・話し合い活動や情報を収集・整理して発表する活動などに取り組みながら、課題解決に向けて自ら考え学びを深めたり、相手にうまく伝わるよう工夫したりする能力を育成する。
- ・一人ひとりのよさを認め、生徒が自己有用感をもちながら主体的に学習に臨めるような授業づくりを目指す。
- ・将来に向け、明るい夢と希望を抱く生徒を育成するために、3年間を見通して、生徒の個性や適性を伸ばす進路指導のあり方について研究する。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・学校目標「活気あふれる温かい学校づくり」の土台には、十分な睡眠、調和のとれた食事など規則正しい生活習慣があつてこそと捉えています。ご家庭のご協力を宜しくお願いします。
- ・携帯電話やスマートフォンを利用するにあたり、ルールやマナーについて、引き続き、ご家庭でもご指導を宜しくお願いします。
- ・地域活動が盛んであり、地域とともにある学校教育を実感しています。今後とも、家庭・地域・学校が手を取り合いながら、子どもの健やかな成長を支えてまいりたいと存じます。引き続きのご支援を宜しくお願いします。